

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●マイルチャンピオンシップはソウルラッシュが優勝

11月17日(日)に行われたマイルチャンピオンシップ(G I)では、ソウルラッシュ(牡6歳/栗東・池江泰寿厩舎)が優勝、G I初制覇を果たしました。

●渡辺竜也騎手がJRA初勝利をあげる

11月16日(土)の6回京都5日・第10レースとして行われた近江特別ではメイブルタピットが1着となり、同馬に騎乗した渡辺竜也騎手(笠松・笹野博司厩舎)は、JRA初勝利(8戦目)をあげました。

●岩田康誠騎手がJRA通算1800勝を達成

11月17日(日)の5回東京6日・第9レースではラフエイジアンが1着となり、同馬に騎乗した岩田康誠騎手(栗東・フリー)は、史上14人目・現役6人目となるJRA通算1800勝(1万5499戦目)を達成しました。

●上原博之調教師がJRA通算500勝を達成

11月16日(土)の5回東京5日・第3レースではエンプレスフレームが1着となり、同馬を管理する上原博之調教師(美浦)は現役28人目となるJRA通算500勝(延べ7133頭目)を達成しました。

●田中克典調教師がJRA通算100勝を達成

11月16日(土)の6回京都5日・第7レースではアストラカが1着となり、同馬を管理する田中克典調教師(栗東)は現役145人目となるJRA通算100勝(延べ809頭目)を達成しました。

●3回福島のリレーディングジョッキーは丹内祐次騎手

11月17日(日)をもって3回福島競馬が終了し、7勝をあげた丹内祐次騎手(美浦・フリー)が開催リレーディングジョッキーとなりました。

●重賞ウイナー2頭の競走馬登録抹消

2022年デイリー杯2歳S(G II)の勝ち馬オールパルフェ(牡4歳/美浦・和田雄二厩舎/JRA通算12戦2勝)と、2023年新潟ジャンプS(J・G III)の勝ち馬サクセッション(騾7歳/美浦・国枝栄厩舎/JRA通算22戦6勝)は、8月31日(土)付で競走馬登録を抹消されました。サクセッションは北海道苫小牧市のノーザンホースパークで乗馬となる予定。オールパルフェは地方・兵庫競馬に移籍しています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●みやこS 2着のアウトレンジが浦和記念(浦和)で重賞初制覇

浦和記念(JpnII、11月20日、浦和、2000^米)は、3~4番手から3コーナー過ぎに先頭に立った2番人気のアウトレンジ(クリスチャン・デムーロ騎手=フランス、牡4歳、父レガール)がライトウオーリア(川崎)に6馬身差を付けて圧勝。逃げたメイショウフンジンが3着に粘り、単勝1.7倍で断然人気の昨年の覇者ディクテオンは4着、ダイシンピスケスは9着に敗れています。

●兵庫ジュニアグランプリ(園田)でハッピーマンが人気に応える

兵庫ジュニアグランプリ(JpnII、2歳、11月21日、園田、1400^米)は、中団から追いつけ、直線で内から2頭目を突いて伸びた1番人気のハッピーマン(坂井瑠星騎手、牡、父ダノンレジェンド)が、逃げ粘る3番人気のコパノヴィンセントを残り100^米を切った辺りで差し切りました。ヤマニンシュラが3着に入り、2番人気のコスモストームは5着、シャインミラカナは10着でした。

●船橋の森泰斗騎手が11月29日限りでの引退を表明

2015、2016、2019~2021年に地方競馬のリレーディングジョッキーとなり、今年も現在トップに立っている船橋の森泰斗騎手(43歳)は、11月29日の船橋競馬を最後に引退することを表明しました。

●ゼロアワーが牝馬限定重賞3連勝【各地の主要2歳重賞】

フローラルC(9月19日、門別、1600^米、牝馬)は、2番手から3、4コーナー中間で先頭に立った3番人気のゼロアワー(父ステッペンウルフ)が6馬身差で圧勝すると、続くプロッサムC(10月24日、門別、1700^米、牝馬)も3番手追走から直線に入って間もなく抜け出して後続を4馬身引き離し、単勝1.2倍の支持に応えてフルールCから重賞3連勝を達成しています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●香港国際競走に向けた3つのG2が行われる

12月8日に行われる香港国際競走に向けたステップとなる3つのG2が11月17日に香港のシャティン競馬場で行われました。まずG2香ジョッキークラブスプリント(3歳上、芝1200^米)を制したのはカーインライジング(騾4歳、父シャムイクスプレス、D.ヘイズ厩舎)。Z.パートン騎手とのコンビで3番手追走から直線で楽々と抜け出して3馬身1/4差で完勝。1分07秒43のコースレコードを樹立しました。続くG2香ジョッキークラブマイル(3歳上、芝1600^米)はJ.マクドナルド騎手が手綱を取ったヴォイッジバブル(騾6歳、父ディープフィールド、P.イウ厩舎)が先行策から優勝。今年1月のG1香スチュワーズC(芝1600^米)以来となる勝利を挙げました。そしてG2香ジョッキークラブC(3歳上、芝2000^米)は同じくマクドナルド騎手が騎乗したロマンチックウォリアー(騾6歳、父アクラメーション、C.シャム厩舎)が5番手追走から直線で鋭く伸びて4馬身1/4差で優勝。6月の安田記念(G I)優勝以来のレースを制して、連勝を6に伸ばしました。